

## 電子工学を用いたSDGsに関連したシステム実現のための双方向gPBLプログラム(受入)

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年08月25日 ~2025年09月02日	日本	キングモンクット工科大学トンブリ校	・電子工学科、電気工学科 ・学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生10名、学生バイト3名、 教員3名 (キングモンクット工科大学トンブリ校) 学生10名、教員1名	横井 秀樹(電気電子工学課程先端電子工学コース)、加納 慎一郎(電気電子工学課程先端電子工学コース)、小池 義和(電気電子工学課程先端電子工学コース)



図1 デザインレビュー

今回実施された受入PBLプログラムは、キングモンクット工科大学トンブリ校(KMUTT)と10年以上継続して取り組んでいる双方向型PBLの前半にあたる。今年度は昨年、一昨年と異なり芝浦工大での受入プログラムを最初に行い、後半でKMUTTでの派遣プログラムを実施した。今回、受入プログラムは8月25日から9月2日にかけて行われ、9月20日から9月28日にかけてタイ・バンコクでの派遣プログラムが実施された。単位認定については、受入プログラムが「共通科目: 受入グローバルPBL1または2」として付与される。参加状況は本学からは10名、KMUTTから10名参加しており、KMUTTから教員1名も参加している。本年度はSmart agricultureに関するシステムの実現をPBLのテーマとして学生に取り組んでもらった。受入プログラムではデザインレビュー、最終日の中間発表に加えて、浴衣ワークショップは、IHI museum見学も行って、参加学生は充実した時間を過ごしている。後半の派遣プログラムでの盛り上がりを期待している。



図2 中間発表

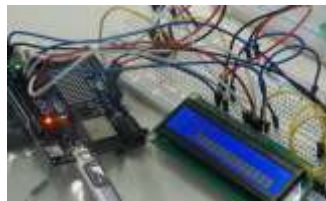


図3 中間での成果物



図4 ワークショップ



図5 浴衣ワークショップ